

令和3年度一般会計分の主な事業

議会費 議会だより発行事業(173万円)、議会棟会議室音響設備改修工事(820万円)※繰越明許

総務費 騒音地域整備基金積立金(2億67万円)、財政調整基金積立金(1億2,868万円)、地下水調査業務(3,465万円)※繰越明許、民家防音家屋空調施設維持管理補助金(1億3,911万円)

民生費 障がい者(児)の生活支援事業(1億4,989万円)、福祉センター管理運営委託料(3,135万円)、放課後児童健全育成事業(2,773万円)、児童手当支給事業(7,351万円)、保育所運営に係る経費(2億669万円)、子育て支援センター建設工事(1億8,348万円)

衛生費 新型コロナウイルスワクチン接種事業(8,751万円)、ごみ袋無料配布事業(473万円)、山武郡市環境衛生組合負担金(1億5,534万円)、簡易水道事業認可申請作成業務(3,487万円)

農林水産業費 農産物直売所駐車場整備負担金(1,600万円)、成田用水土地改良区等への負担金(3,860万円)

商工費 芝山町商工会補助金(451万円)、ひこうきの

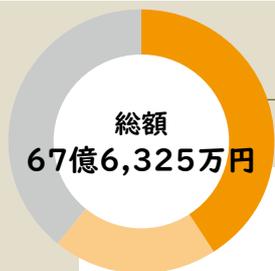
丘物販スペース建設工事(1,751万円)

土木費 地籍調査事業(9,582万円)、道路維持事業(7,982万円)、高谷川沿い道路予備設計等業務(2,182万円)、機能補償道路整備事業監理業務(3,125万円)、千代田地区区画整理事業調査業務(3,286万円)、川津場地区官民連携基盤(1,901万円)、公共下水道事業特別会計への繰出金(1億7,092万円)

消防費 広域行政組合負担金(1億6,165万円)、防災行政無線更新工事(6,490万円)

教育費 スクールバス運行業務(3,215万円)、学校ICT利活用事業(2,135万円)、学校給食無償化事業(2,183万円)、社会教育団体への補助金等(3,651万円)、旧敷家住宅保存修理工事(1,316万円)、はにわ博物館の管理運営に要する経費(2,640万円)、文化センターの管理運営に要する経費(3,783万円)、調理・配缶等業務委託料(3,609万円)

災害復旧費 はにわ台団地水路災害復旧工事(3,850万円)※繰越明許、事故繰越



一般会計 歳入

前年度に比べ4.1%減少しました

【歳入の内訳】 町税28億1,887万円(41.7%)、諸収入13億8,974万円(20.5%)、国庫支出金4億8,721万円(7.2%)、利子割交付金ほか各交付金4億5,616万円(6.7%)、町債3億7,698万円(5.6%)、繰越金3億4,476万円(5.1%)、県支出金2億3,193万円(3.4%)、地方交付税1億9,990万円(3.0%)、財産収入1億7,320万円(2.6%)、分担金及び負担金9,807万円(1.5%)、地方譲与税9,068万円(1.3%)、繰入金4,151万円(0.6%)、使用料及び手数料2,473万円(0.4%)、寄付金2,951万円(0.4%)

自主財源72.8%・依存財源27.2%

決算

令和3年度の財政状況の公表

☎ 総務課 財政係 ☎77-3902

令和3年度決算が9月28日に定例議会で承認されました。「一般会計」と5つの「特別会計」それぞれの決算の概要をお知らせします。

令和3年度一般会計性質別決算

消費的経費 48億1,131万円 (76.8%)

【人件費】 11億3,073万円 (18.0%)

・職員給 7億652万円 (11.3%)

・その他 4億2,421万円 (6.7%)

【物件費】 12億9,592万円 (20.7%)

【維持補修費】 9,144万円 (1.5%)

【扶助費】 4億4,424万円 (7.1%)

【補助費等】 10億7,058万円 (17.1%)

【その他】 7億7,840万円 (12.4%)

・投資等 6,817万円 (1.1%)

・積立金 7億1,023万円 (11.3%)

・その他 0万円 (0.0%)

投資的経費 5億4,411万円 (8.7%)

【普通建設事業】 5億202万円 (8.0%)

・補助 5,078万円 (0.8%)

・単独 4億5,124万円 (7.2%)

【災害復旧事業】 4,209万円 (0.7%)

・補助 0万円 (0.0%)

・単独 4,209万円 (0.7%)

公債費 2億5,778万円 (4.1%)

繰出金 6億5,194万円 (10.4%)

合計 62億6,514万円 (100.0%)

町民1人当たり
90万円
の支出

令和4年3月31日現在
人口6,928人



【町の財産】

土地 553,232㎡ (前年比-21,092㎡)
建物 47,038㎡ (前年比-2,042㎡)
基金 33億3,399万円 (前年比+7億6,959万円)

有価証券・支出金

15億2,932万円 (前年比+5,917万円)

【町の借りているお金 (全会計)】

一般会計 24億2,538万円
特別会計 (下水道関係) 7億8,588万円
合計 32億1,126万円

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、財政健全化比率と資金不足比率を公表します。
芝山町は、いずれの比率も基準を下回り、健全な財政を保っています。

財政健全化判断基準

実質赤字比率 - 早期健全化基準 (15%)
連結実質赤字比率 - 早期健全化基準 (20%)
実質公債費比率 6.6% 早期健全化基準 (25%)
将来負担比率 - 早期健全化基準 (350%)

※実質・連結実質赤字額、将来負担額がない場合は「-」と表示

資金不足比率

農業集落排水特別会計 - 経営健全化基準 (20%)
公共下水道事業特別会計 -
共同浄化槽事業特別会計 -

※資金不足額がない場合は「-」と表示

用語の説明

【一般会計】

教育や福祉、道路、公園の整備など、主に町の基本的な行政サービスを行う収入や支出のこと

【特別会計】

国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計とは別に独立して行われる収入や支出のこと

【自主財源】

町が自主的に収入できる財源のこと (町税や使用料・手数料など)

【依存財源】

国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする町の収入のこと

依存財源が多いとそれだけ国や県に頼る部分が多いということとなり、町が自由に使えるお金の割合が少ないことを表しています。



一般会計 歳出

前年度に比べ6.6%減少しました

【歳出の内訳】 総務費21億6,258万円(34.5%)、民生費14億1,733万円(22.6%)、土木費7億4,719万円(11.9%)、衛生費5億946万円(8.1%)、教育費4億9,713万円(8.0%)、消防費2億8,640万円(4.6%)、公債費2億5,778万円(4.1%)、農林水産業費2億145万円(3.2%)、議会費8,586万円(1.4%)、商工費5,787万円(0.9%)、災害復旧費4,209万円(0.7%)

令和3年度 歳入歳出決算総括表

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	67億6,325万円	62億6,514万円	4億9,811万円	
特別会計	国民健康保険	9億8,589万円	9億5,653万円	2,936万円
	農業集落排水	5,546万円	5,496万円	50万円
	公共下水道	2億4,607万円	2億4,503万円	104万円
	介護保険	8億5,051万円	8億2,423万円	2,628万円
	後期高齢者医療	1億200万円	1億138万円	62万円
	共同浄化槽	1,305万円	413万円	892万円
合計	90億1,623万円	84億5,140万円	5億6,483万円	